

臼井駅前接骨院 松原 国光

爺放談

鍼灸柔整 40年やっではみたが…

千葉県 佐倉市 王子台 3-2-5

<http://www.usui-harikyuseikotu.com/>

40年間無趣味の自分は1日も休まず365日、朝7時半から治療、急患は24時間受け付けました。

婆のケツを揉んだり、爺の手を揉んだりそんなことをしているアホな男の放談です。

この業界は昭和40年頃が最も美味しい時代でした。

色々な骨接ぎを見ましたが、少数ですが技術力が有りほとんどの骨折の患者がほとんど変形の無い立派な接骨院もありました。

当時の整形外科と言え骨が付けばいいぐらいの考えしか無かったのか、日本一の医学部を出た先生でも酷いのが多かった。

あれを見たとき自分も骨接ぎで食べていけるかと思ったものだ。

今は整形外科も派手な変形では訴えられるので、勉強している医者が出て来て接骨の出番は無くなったのが現実です。

骨接ぎではやはり医学知識の無さから来る病的骨折を見落とす事故につながった事も多々あった。

致命的な事はレントゲンを撮ると捕まることになってきておりレントゲンも撮らず「だろう」では患者が納得しない。自分がもし骨折したらMRIのある大きな病院に行きます。

身内の者には整骨などには行くなと言います。色んなテープとか、電療とか有りますが40年やってそんなものはほとんど効かないと思います。

現実を見るとここにきている患者はほとんどあはきの適応症。宝島と言う雑誌で整骨、リラクゼーション、整体、カイロ、タイ式マッサージ等を実際に行きやらせてみたが全て同じだったと書いてあった。

ただ骨接ぎもイリオモテヤマネコと同じで日本の南の方に親の代から本当に骨接ぎをしていた二代目でまだ怪我ばかりやっている骨接ぎも知ってはいますが、これは日本に何人もいない。ヤマネコと同じ位の数だ。

今の日本の接骨は下手糞な保険あん摩師となっているのが現状。これを穴場から墓場になったと言う。丁度佐渡の金山と同じだ。若い人にはこの職業は勧められない。

昔は開業して2~3年もすれば皆家が一軒も建て、ベンツに乗り、派手な生活をした。

あんな生活はもう夢だ。医師と同じ位の収入が有ったのではではないか？

だって保険を使えたのは歯医者や骨接ぎと医者しか居ないのだから医者と間違われるのは当然だ。

やっていた人と言え私もそうだが職の定まらない変な人が多かった様に思う。気持ち悪い整骨院の話、この人は50年前ある人の家で3歳くらいの子供が階段から落ち頸を捻り往診を頼んだ。するとその料金は7万円、これが村中の評判になり患者が全く来なくなり、一般の会社で肉体労働をしながら休みの時たまに整骨院をしていた。そのやり方とゆうのは、必ず目くらめっぽうに首や腰を捻り必ず怪我をさせ、近くの病院行きとなりその病院の先生は再三なのでまたかと怒っていました。この人は髭もじゃで、気持ち悪い顔をしており若い女性が来ると、骨盤がどうのと言って、パンツを脱がせしげしげとみる。中学生の女の子などは泣いて暴れ外に飛び出す。これがしばしばでした。不思議とババアとジジイが来るとパンツを脱げと言わないのです。目で見て骨盤がどうなっているかなんて分かるはずがない。そんなことで分かれば、5億円もするMRIなど病院は買わない。分かるのは臭いくらいだ。本人は宗教のように捻れば何でも治ると信じているのでした。またこの人は、通りかかりの全く知らない奥さんに声をかけあなたは骨盤が歪んでいますとよく言うのです。また床屋に行き散髪の前にこの部分を刈らなくていいから料金をいくら引いてくれるか交渉するのです。新聞に良く出るが保険の水増し請求は派手に耳に入ってきた。又中には、選挙が有ると柄にもなくしゃしゃり出て訳の分からないことを言って笑いものになる人。世に一般的な酒、女等の事故は多かった。

従業員の若い人には、これからは、あはきと柔整は絶対に必要だと、成田の飛行場に行ってみると、片羽の飛行

機で離着陸している飛行機は一機もないぞと言って、柔整の人は鍼灸の、鍼灸の人は柔整の学校に行かせました。3年少々苦勞すると、30年間バラ色だ。

3年苦勞しなければ、30年間地獄だ。これが現実だ。苦しい事、辛い事に立ち向かわず、尾っぽをまいて逃げた奴は、惨めなことになってしまいました。こんな3年なんて、大したことはない。我々の親の代には戦争に行き、戦場で死んだ奴、手足を失った奴、これらに比べれば何の苦勞ではない。ここが、貧乏とリッチの分かれ道となった。人は、水が高いところから低いところに流れるように、苦しいところから楽なほうに逃げたがるものだ。が、その両翼飛行も今では楽ではなくなっているのが現実です。柔整は学校が10数校で、合格者を1000人位に絞ってきていた。今は規制緩和で、合格者が年5000人位。美容師と同じくらいの数になってきています。これからは歯医者と同じに、バタバタと潰れるだろう。他の職業から見て、やれば必ず上手くいく。そんな職業はあってはおかしい。かなり競争して潰れていくのが正常ではないだろうか。今までが異常だったのだ。40年、色々な人に力を借り、色々な人に働いてもらったが、色々な事が起こるものだ。中には女癖が悪くて、オハリの名人と言われているのもいた。それは揉めて何度も何度も私に尻を持ってきたことがあり、自分は従業員の夜の管理までは出来ない。娘の婆さんが、夜帰らなかつたけどどうなっているのか、聞きに来たときは、古来、人の口には戸は立たないと言うが、全くたたないのは、娘の下口ですと言ってやった。中には、柔道詐欺師と言うが、鍼灸師も、大泥棒が何人かいた。友達も同じ話をしていた。ある柔整鍼灸師の話。田舎からたまに新宿へ出たので年甲斐もなく羽を伸ばし泡の出る風呂に行った。すると、出て来た泡姫は針灸の学校の時の同級生で、あつと言うと本人は否定したが間違いなくその人だった。あの人は新宿で何人か人を使い針灸院をやっていたが、どうしてこんな事になったのかと言っていました。

そこで、何故、あはきは食べられないのか。結論から言えば、中身があまりにも惨めで、絶対食べられない人間だからだ。食べて行ける人を見ると地方の名門で獣医師を代々続いた家の人や酒造りだったり駅前焼肉屋をやった人やこうゆう人を見ると人物もいいが知名人であつたり都内でかなりいい場所に陣取った人たちでした。それに反し、例えばこんな人がいました。初日から毎朝出勤が1時間程遅れてくる奴。おかしい男、Aの話。この男は仕事ですぐキレて、2か月で頭が痛いと言って辞めましたが、すぐに自分で開業。あはき、柔整の免許も有り、頭の回転も物覚えも良く、そしてイケメン。人当たりも良く、まあまあ患者が来たが、夜は金貸しをして、資金繰りに窮したか、患者から金を借りまくり、仕事が終わっても待合室がいっぱいで変に思ったところ、その人が全員院長に金を返せという人でした。そこですぐ廃業となり、しばらくして少し離れた所で開業したのですが、癖は治らず、また金を借りまくり、踏み倒し、夜逃げとなり、大家が後片付けすると、押し入れの中はポルノ雑誌の山だったそうです。その後、タクシーに乗っていたという話も聞きましたが、暴力団に消されたのか、行方不明になってしまいました。この男は開業し、少し金が出来たか、アメリカの大統領が乗る外車に乗り私の所に来ました。

私が以前からベントには乗るな、便器には毎日乗っても良いが、これを忘れて居た様です

もう1人の1年中遅れてくる男も、惨めな人生になりました。

朝熱が出たと言って、月に何回も出勤してこない女。夜、風俗で働き、仕事中は2階の更衣室に上がり、同僚の財布から金を抜き取る。そこで仕事中金をいじらせないで置いたが、患者の脱衣カゴから金を抜き取っていた女。この女性は耳が悪いのもあつたが話しかけても返事もしない変わった人でしたが男好きで夜は男なしで寝られない女、男が数人おり二股ではなく隣に八街と言う市があり、それにかけてあだな名を八股と言っておりました。夜になり仕事が終わるころ接骨院の裏に若い男が突っ立っているの、その男のズボンのファスナーを見るとすでに富士山になっていました。こうゆう女を世間ではティシューペーパー三枚の女と言う。こんな人でも人間はどこか良い所が有る物だ。死刑囚でも隣の人に蚊が付いていればはたいて落としてくれる。これが人と言うもの。こんな人たちはどこに行っても務まらず職を転々として夢だけを求めこうゆう業界に入ってくるのです。単なる

不幸の上塗りです。自分を全く知らず、悪いことが有ると全て他人のせいにし、1分でも時間外に働きたくなく、掃除などする気のない奴が技術だけ覚えようとしているが技術なんて全く要りません。人柄とまともなことがわからなければ必ず失敗します。成功しそうなのは2・3%です。この人だと思う人は皆大成功した。大事なことを全く覚えていない者が絶対失敗するのです。特に鍼灸師は来た日から研究・研究と言って神がかりの様に治す・治すと言って一人の患者に1時間も2時間もかけ経営者のやってほしいことも考えもせず何も分からず何回も失敗するのです。これが一般の鍼灸師です。そもそも、サラリーマンとゆうものは、ラテン語の1日働いて塩を一握りもらって帰る人です。来た日からサラリーマンの気持ちなのだから経営者にはなれない。我々は経営者を目指しているのだ。それがなんであるか分からないのだから必ず失敗する。経営者はサラリーマンの3倍体と頭を使わなければ持たない。貧乏人はただ怠け者、働かなかっただけだ。我々はスポーツ選手や芸能人と全く同じだ。何の保証も無ければいつまで続くかも分からない。それゆえに自営業者は先を読み、自分に厳しくしなければ持たない。一般の会社でも1割ぐらいしか役員までいけないんじゃないか。私事ですが、私もかなり失敗しました。とゆうのは、不動産屋に乗せられバブルの時二億円損しました。

灸頭鍼は恐ろしい。どれだけ患者に火傷をさせたか。またある時、足の包帯を巻いて包帯を切る時、婆さんの足のしわを切ってしまった。またある時は、鍼灸の学校にも行かなければならず、骨折の子供の手を骨折でない方に包帯を巻いてしまい、子供が玄関で「違う違う」と言うので気づきました。どれだけ人に迷惑かけて失敗したことか。私も偉そうに大した事を言える人間ではありません。骨折などでもおかしくなると因縁付け金を強請る奴、頭がぐるっていて治療中に暴れる奴、時には近くの接骨院から顎の脱臼の患者が来ており、入らないのであなたは入れられますかと言うので、入れられますので来てください。すると、患者が来たのが寒い朝だったので、温めて整復すると瞬時に入りました。するとその後は何度も外れて夜中に来ました。ある時、寒い冬の夜中、入れてやり料金をもらう時その患者はこんな真夜中いつもすみませんと言った。その時、私はこんな時間はお化けも寝てるからな、とゆうと大粒の涙がぼろっとゴミ箱に落ちてきました。その音が今でも耳に残っています。後でその人と話したのですが、初めて来たときは接骨院を数件回ったが整復できなかったそうです。東京でも、外れて接骨院に行きましたが、入れられなかったそうです。寒い時そうゆうことが有りますが、今の接骨院では骨折・脱臼の整復は無理だとゆう事です。先日などは、肘内障の子供が接骨院に行ったが何でもないと返されました。そこで私のところに来ましたが、遠くから見ても肘内障だと分かり、捻るとすぐ直り患者はもう治ったのですかと言うので柔整師の一番初歩の施術です。今の接骨院は皆こんなものです。自分の仕事に誇りを持てるでしょうか、哀れな話です。

人の寿命は、親からの遺伝子30%、生活環境70%で決まると言うが、その人の人生は遺伝子80%、20%は周りの人との巡り合い、人の助けや、得た情報。

アメリカでジュークとバッハ一族を260年調べたところ、ジュークが戦場で馬鹿な女に子供をつり、その子孫は、全員が泥棒と性犯罪に手を染めた。

戦場から帰り、普通の女に出来た子供は、みんな普通の人だった。また、音楽家のバッハの子孫は、みんな秀才だったと書かれている。このことから、ほとんど遺伝子で仕事のできる人、貧乏な人も、決まっているのではないか。前記したような人がどんな免許をとっても役に立たない。こんな人の免許証は山羊に持って行って食べさせた方がまだましだ。こんな従業員の親も、やはりおかしい人が多かった。おかしい人の親を見ると、その人は妾の子や刑務所に入っていた人でした。私は人格の矯正と、脊椎の矯正は不能と言っております。

人間種馬の話。

私はある男Hを使って分院をしておりましたが、その男は工作中1日中女に電話をしておりました。そこで女と手切れ金で揉め、200万円取られ、別の女と結婚することになりましたが、これを知っている患者がおり、あの男は女遊びが激しいのでやめた方がいいと娘の家に言いに行くと、その家の者がその患者のことを怒っ

た。その男は結婚3か月で離婚しました。この男の家は親子3代、人間種馬と呼ばれていました。この人達を世間では接骨院ではなくセックス院と言っておりました。

N 先生の話

この人は代々、百姓で農作物の種を蒔いていましたが、整骨院をはじめ羽振りがよくなりベンツに乗り派手にやっておりましたが、そのうち川向こうの百姓の娘に自分の種を蒔きまくり評判となり患者が急に居なくなりました。

H 先生の話

この人は人当たりも良く、派手に女にモテ、夜になるとアパートの前に色々な女性が出没しておりました。エネルギーをその女性に吸い取られたとみて、国家試験を滑ってしまいました。中には働いていたところに来て恩を忘れ従業員の引き抜きをやる奴。この男は悪いことをすると良く目が潰れると言われましたが、この男は目より大事な男のタマが潰れてしまったようです。

O 先生の話

整骨院を開業し急に羽振りが良くなり、毎日飲み歩き、酔いつぶれて電車のレールの上に足を乗せて寝ていた。そして足を失いました。

ある人は村で開業したが、急に羽振りが良くベンツを乗り回したところ、これを村人が妬み患者が減ってしまった。

I 先生の話

かなり離れた所に整骨院ができて、自分の患者がそちらに行くと分かったら、必ず「俺の患者を盗った、殺してやる」と電話をし、暴れる男。その男は、身内や周りの者は変なので誰も相手にしないので、外国でハーレムを作っているようです。こんな人間でも、場所と時代が良かったか、かなり患者は来ていました。患者数は、腕は全く関係ありません。精神病院に入れられる者以外は、大きな建物と場所です。1日数人しか患者がいなかった者も、場所を変えたところ、1日100人以上来た人を何人か知っています。場所を変え、5年で3億円つくった人も知っています。流行るか流行らないかは、1に医療過疎地、2に建物が大きい、3に駐車場が前につき大きい、4に国道に面している、または駅前、これだけです。

だが我々から見れば、あはき柔整が揃っている。それだけです。

免許の話。この件に関しては、小泉純一郎が厚生省にカイロや整体をやらせたらどうだと言うので、厚生省はそれでは大学病院で研究させ、効果があるなら認めようということになり、東北大学医学部で研究させた。すると、こんなもの怪我人発生工場だということになり、1.カイロや整体で首腰を捻りボキボキされる行為の禁止、2.骨粗しょう症やヘルニアの施術の禁止、3.病人の施術の禁止、4.皆を惑わす誇大広告の禁止、以上を厚生省は都道府県に通知した。この話がかえって藪蛇となり、禁止されたのです。また、仙台高裁で医療関係の国家資格は、2000程ありますが、この人たちはカイロや整体をやって良いが何の免許も持っていない人は全て禁止ということになりました。ここで国家資格を持った人でも、上記4点は禁止しました。

当たり前だ。1時間も医学教育を受けていない者が白衣を買ってきて病気を治すと言って、首や腰を捻り、病気の手遅れにさせ、怪我やわいせつを多発させているのが現実です。友人の木村通さんではないが、病院の理学療法にいる時、カイロをやっている人が来て、首の骨って何本あるんだ、と聞いていました。ただ、やみくもに捻っただけだ。けが人は交通事故くらいあるんじゃないか。ある時の雑誌の記事で整形外科の医者が、整体やカイロで大怪我をさせられ、救急車で担ぎ込まれるのが後をたたない。鳥肌が立つ、寒気がする、やめてくれ、と書いてあったが、脊髄だけでヘルニア、靭帯骨化症などの31の病名がつく。これをMRIもCTも撮らずに捻れば、少し医学知識のある者であれば、鳥肌がたつのは当たり前。柔道整復師の免許を持っていても、何も分からずこういうことをしている馬鹿が多い。テレビで柔整の免許を持ち、アメリカでカイロの免許を取ったというその道

の大家だと言う男が国が教育をさせ、免許制度をつくらないから怪我人がでるのだとテレビで言っていたが、その男がテレビに出て次の日にその男に頸を捻られ怪我をさせられ私のところに治療しに来た女の人がありました。その人にどんな治療をしたのか聞いたところ、何の間診もなく、寝かせて首を捻っただけ、そして1万円とられました。どんな人でもレントゲンやMRIを撮らずに分かるはずがない。分かるのは千里眼だけだ。こんな事、誰がやっても同じだ。調子に乗ってこんな事を続けていけば、訴訟社会となっており訴えられ群馬県の伊勢崎で婆さんが腰を捻られ粉碎骨折をしたのでしょ。車いすとなってしまう、1億2千万円払えという判決になりました。知人の男性の知り合いの婆さんは京都で整体にかかり、膝を捻られ歩けなくなり訴訟で800万円払えという判決になりましたが、加害者は働いて払います。被害者は一円も取れず裁判の費用だけ損をするだけでした。大体、何らかの医学教育を受けた者なら、ヘルニアや靭帯骨化症等31からの病名が付く。

これを捻ればどうなるか少しは分かっても良いはずだが、現実には柔整師でもカイロや整体と同じ位の知識しか無いのがかなりいる。

免許持ちが無免許のところに習いに行っている。呆れた話だ。これでは食えないのは当たり前だ。

家で働いていた岡田先生が八街の病院に勤めている時、医者から患者が脊椎矯正して下さいと言う人が居り、その時脊椎は500kg~1000kg位の衝撃でないとズレません。

ズレているのはやっている人の人生だけですよと腹の底から笑いまくるのでした。

頸で日本の権威医科歯科大の四ノ宮先生では無いが、カイロ等はお勧めできませんと書いている。ある整形外科医がカイロや整体で怪我をさせられ、救急車で担ぎ込まれるのが後を絶たない。鳥肌が立つ、やめてくれと書いている人がいました。

これが現実だ。ここで思い出されるのは2,3年前赤ん坊の首を捻ると免疫抵抗力が上り健康になると称し、1回1万円を取り1千人位の首を捻っていた。その中に3名が窒息死していた。警察に届け出ても一向に事件として扱って貰えず、ようやく3名の死者が出て動いた。

その罪名には呆れた。業務上過失致死で懲役1年半、無免許で業務上はおかしい。これは単なる傷害致死だ。3人殺しているのだから死刑が妥当だろう。

これが我が国の法運用の実態だ。呆れた話だ。

私も患者から治療中100人位骨折させられたと聞いた。だからこんなことを書いているのです。

そこで私は、この話を文章にまとめインターネットのホームページへ載せています。

[\(http://www.usui-harikyuseikotu.com/\)](http://www.usui-harikyuseikotu.com/)

これを見た読売新聞の高沢記者が1年かけ平成16年6月、読売の土曜日の朝刊全国版に掲載されました。その他フジテレビの30分番組にも出演して取り上げられました。

その他様々なメディアでも取り上げられています。

特に年寄りにプロレスの技の様な事をやり、肋骨骨折、脊椎圧迫骨折、粉碎骨折等が多かった。柔整の免許を持っていても年寄りの骨は軽石だと言う事すら知らない奴が多い。

患者Mの話

頸が痛かった。そこで友人がI整骨院が良いと言うので数回治療に行った。

その整骨院は鳥山が立つほど患者が来ていました。

治療する人は若い男で、患者の機嫌を取るのが上手な男でした。この男は柔整の学校を数回受けても受からない無免許の男でした。その男が婆さんの首を捻った。すると、音がしないので力任せに捻った。すると、悲鳴を上げベッドでのた打ち回った。

するといつも調子のよいその男が急にオオカミとなり他の従業員も一緒に、うちの施術ではそんな事に成る筈が無い因縁をつけていると婆さんを怒鳴りまくり、有り金全てを取られ、外につまみ出された。その時、いつも居

た事が無い院長まで出て来て怒鳴りまくった。

そこで婆さんはすぐに病院へ行き診察を受けると頸の靭帯が切れているとの診断でした。

この人の弟は裁判官をしているが、立証責任が患者側にあり弁護士を付けても結審に何年も掛かるので泣き寝入りでした。

これが我が国の法運用の実態だ。厚生労働省はカイロによる事故の届け出数が少ないと言うが届けていないだけだ。一般人はどこに届け出たら良いか判らないのが現状。

やった柔整師は宗教みたいに何でも捻れば病気が治ると思っているのである。あきれた話だ。このレベルなのだ。色々なマスコミやテレビ番組にしょっちゅう出ているが何一つ変わらない。丁度昔からの友人でそちらの関係の取り締まりで防犯の責任者で県警のトップをしている男は私のところにおおと言って立ち寄ってくれたので、無資格の話をする、実は県警も取り締まりをしようと言う話になり厚生労働省の係に電話で聞いてみた。

すると係は、事故があつてから取り締まりをしてはどうかと言う話で、取り締まりは取り止めと成った。

実害が有つてからと言うのであれば、丁度無免許で車を運転しても良い。道路交通法等の法律も事故があつてから取り締まりをするのと同じだ。これではあらゆる法律が日本に存在しなくなる。だが、実際には事故は届けていないだけで前記した婆さんの様に泣き寝入り。

実際は交通事故と同じ位怪我人が出ているのではないか。この男も以前 50 歳位の時警察官を辞め、整骨院をしたらどうかと私に相談に来たが、年齢から言っても又、柔整だけの免許で電気掛けただけでは治らない。鍼灸の免許も取るとなると 6 年掛かる。又、この業界の

これからの見通しから言ってもどうかなと言ってやりました。

その他 3~4 名の警察官も整骨院にこれからなったらどうかと相談に来ました。

それより可笑しな事は、十数年前に東北大学医学部でカイロ等を研究させたところ、派手に怪我人が出ているとして厚生労働省は禁止の通達を出して置きながら、時が経ち、係が変わると全く引き継ぎもせず忘れてこの有様だ。

警察も厚生労働省もこのレベルの人がやっているのだ。

無責任も甚だしい。乞食は三日やったら辞められないと言うが、この人たちはこれで給料を貰えるのだから、5 分やれば辞められないだろう。これが実情だ。

取り締まりをしたのが神奈川県警だけだ。その理由は健康に害を及ぼす恐れが有るとして取り締まりを行った。先日の読売に 7 年間で消費者苦情センターに 2 千数百件、カイロや整体でケガをさせられてその内、16%が骨折や神経損傷と書かれておりまた、平成 14 年の読売で年千数百件、消費者苦情センターにきており厚生省は各保健所に指導取り締まりを通達したとあるが、取り締まりがあつたと聞いた事が無い。実害が無ければカイロや整体をやって良いと言うなら、この世に実害が多発し明白となった今、これは直ちに取り締まりをしなければならぬと言う事だ。そんな事に気付く厚生省や警察、保健所の奴はとっくに辞めて社会に出て美味しい思いをしています。

呆れた話

私は毎年自分の健康の為散歩に出掛けた時、一般家庭にチラシ 10 万枚を入れていますが、料金とご存知ですかご注意ください。

- ① 白衣を着た狼を。保険が使えないと言うことは無免許、無資格の犯罪者であることを（東洋療法財団）より
- ② チラシでよく見かけますが、脊椎矯正だの骨盤矯正だのと言って怪我をさせられ大金を支払わされ回数券を買わされた事は無いですか。これらは病人を手玉にする悪質な犯罪です。

③ 民間資格とは無資格と言う事です。当院は国家資格を有する者のみで治療をしています。安心してご来院ください。

この3点を書いてありこれを見た無免許の輩がこれを持って保健所に持ってゆく。

すると、馬鹿な保健所員はこれを持ち私に辞めろと言ってくる。

すると私はこれは厚生省から保健所に辞めさせろと通達が出ておりその内容で読売新聞にも出ている事なので所員にそれを見せ保健所が無免許の指導監督をしないから私がやっているのだ。保健所の係員の給料は私が貰うべきだ。この係員は通達も、仙台高裁の判決も、

東北大の研究結果も何も知らずに私の所に来ているのだ。医事法規に料金を書いてはいけないとなっているが、料金についてはインターネットに出てるのは取り締まりの対象外だ今はネットの時代でこんなの放置して私に料金書くなど理由がネットの時代だとゆうことを知らないのか医事法規は直ちに改正し見直ししなければならない。関係者は時の流れを全く見ていないのだ。丁度頭の中は壊れた時計の針の様に止まったままだ。これを保健所の馬鹿に言うとそのとうりだと言う。係員は上申書を作成し医事法規の改正を急ぐべきだ。これが保健所の真の仕事だ。私の所に来た係員は同業者の妬みや無免許の奴らに二級酒の1本でも貰い何の知識もなく私の所に指導に来たのです。私は市民の医療事故を防ぐためチラシを出しているのです。そこで、私こそ保健所員だ。これを指導とはとんでもない。

いつでも私を営業停止にしてみろと言ってやりました。

その後何の連絡もありません。もし今度来るのであれば、フジテレビ、読売新聞等数社を呼んで指導するところを立ち会ってもらおうと言ってやりました。この料金の問題について今は整骨院で1回1万円も取り15万の回数券を売っているのが多く、治ったから金を返せと言っても返さないのが現実です。このような現実からして、外食産業の様に料金を明示させるのが正しいのではないかとゆうと、馬鹿な係員も少しは分かったような顔をしていた。

広告の問題にしても無免許は何を書いても自由なので、そのチラシ数百枚を取って置き、その馬鹿な痴呆公務員に叩きつけお前字は読めるのか、目は見えるのかと言ってやりました。料金の問題については明示するように直ちに法改正をしなければならない。係員の仕事はこの事実を上申書にしたため上級官庁に報告するのが仕事だろと言ってやりました。

これは丁度100m競争で免許持ちの足を縛り無免許はそのまま走らせているのと同じだ。

保健所の仕事は市民の健康を守ることだ。これでは全く逆ではないか。また、その二人の所員に今朝頭の悪くなる薬を飲んできたのかと言ってやりました。イワンの馬鹿と言う名作が有りますが、私は今度保健所の馬鹿と言う小説を書こうと思っています。今年のノーベル文学賞間違いないと思います。この件では厚生省、警察、保健所は無責任でこれを放置した為どれ程の重傷者が出たかその罪の重さを全く分かっていないのです。これを真の3馬鹿大将と言う。私を保健所が指導監督するのではなく、私が保険所を指導監督してやりました。

前記怪我人の数は氷山の一角だ。裁判になった例では昨年、群馬の伊勢崎で1億2千万払えと判決がでたが、無免許でやっている奴は只のふうてん1円も無いので、被害者は車椅子にさせられ、弁護士の費用だけ大損したとの話でした。これが我が国の法運用の実態です。

あきれたものだ。金が欲しければ、白衣を着て悪いことをすれば手っ取り早い。帝銀事件の平沢一茂にだって白衣を着て保健所の方から来たと言って、銀行に行き「赤痢が流行っているので消毒薬のこれ飲んでください」と言って青酸カリを飲ませて行員を即死させた。そして金を奪った。ただ、カイロや整体で絶対に首などを捻り治らないとゆう話ではない。私の経験では一度治った経験があった。と言うのは40位の男の人が雪の日、転倒して首を打ちその後、上腕から手に痺れがひどく仕事どころではなく会社からは休むので別の病院に見てくれと

言われ他の整形外科行ったが治らず、自分のところに来ました。

写真は、保険で前後面しか撮れないので、分からないので国立を紹介しました。すると、国立は料金に関係なく写真をくると回し多数撮った。そこで、その先生ここが囁んでいる。これを治せるところに行ってくださいと写真を持たされ東京の道灌山という整骨院に行き、捻り一発で治った。このように化学的な検査と写真を持たせ、免許のある所に行ったから治った。発生機序からして私の判断も良かった。ただこうゆう例は 40 年この仕事をしてきて一件だけだ。その他については、おびたしい怪我人を見てきたからこんな事を書いているのです。こんな事を冷静に考えれば分かるはずだ。イギリスの週刊誌で、カイロや整体は悪徳商法と書き、地裁ではカイロが勝訴。そこで週刊誌が最高裁に上告し勝訴、その理由は科学的証明が壁だったと書いているが、医学的教育を 1 時間も受けていない者がただ目くらめっぽう闇雲に首をただ首捻っただけで、そんな事は証明できるわけがない。当たり前だ。

ある時、どこかの刑務所内で出所した後のため、カイロ講習会を開いた。これに対し、アハキ協会が辞めさせた。これは日本ではアハキの手技に入っています。ある患者の話でリストラが多い時に隣の主人がリストラに逢い、休職中に大手のデパートで施術者を募集しており行ってみると整骨院のチェーン店で一時間講習を受け、これですぐ首を捻ってください。どんな病気も治せると言われて恐ろしくなり帰ってきた。普通の人ならおかしいと帰ってくるのが当たり前。だが実際には無免許で白衣を買って来ただけで病気を治すと称し、大金を取り、怪我やわいせつを繰り返す輩が日本には 20 万人居り放置されているのが現状だ。

これを法治国家ではなく放置国家と言う。整骨と整体の違いを知る患者は日本には 1 人も居ない。そして、前記チェーン店に勤め退社しようとする、俺が学校に行かせてやったのに恩を忘れる気かと経営者が出て来て暴力団の組抜けの様に暴れるのでした。僅かの時給しか貰っておらず、着せられる恩など無いのです。

その経営者の格好と言うと高級ベンツを乗り、バカ面を髭で隠し暴力団そっくりでした。

若い従業員の将来のことなど何も考えずいかに従業員から搾り取る事しか頭にないのです。

こういう所は 1 人が柔整の免許を持ち無免許が数人居りこれで保険請求するのだから美味しい事この上ない。ここで働いていた無免許の男が友人の所に勤めたいと来たので色々聞いたが、こんなこと免許が要るのですかと言うので呆れて物が言えなかった。

当院のホームページで馬鹿が書いた本当の話を読んでみてください。

マッサージはいかがわしい風俗店と紛らわしい。ある時、真面目な学校の先生が、肩こりがひどいので、中国マッサージという所に入った。すると、若い女性が出て来て、いきなりズボンを下ろされ、パンツに手がかかった。その先生は、思わず場違いな所に来たみたいだと言うと、金を返してくれと言って笑った。性風俗の人に悪用されているが、ここらを会は動かなければならないが、だが会は何の能力もない団体で、やる事と言えばちょっと患者が来ている所が有るとそれを妬み、広告を出すとそれを持って保健所に行く、ただ同業者の足を引っ張る位だ。

こんな団体に期待する者は誰もいない。医事法規だって医療類似行為と医療の一部と教えているがこれさえも統一出来ていないのだ。この件については医者だって細分化されており、やっていることは医療の一部に過ぎない。免許と言う物は、一定の条件を満たした時に禁止行為を解除するものだ。運転免許を運転免許類似行為と言う筈が無いだろう。あはきの免許持ちが法的規制を受けていることもあり、1 番儲けていないのが現実だ。経営者にもかなり質の悪い奴が多く、特にチェーン店をやっている奴は全く治す気など無く、売り上げを上げろ上げろの一点張り。水増しは当たり前で、従業員の保険証を使ったり、ひどい話が頻繁に耳に入る。うちに来た柔整師の話。柔整師あはきの免許を持った男がチェーン店に月 50 万という話で務めたが、月給日に渡された袋には、給料は 5 万円。これはどういうことかと経営者に聞くと、君はちょっとちょっと、と言うだけ。そこで、1 年で 50 万と耳が詰まっており、聞き違えたのではないかと行ってやりました。私の保険請求は前とは違い、水増しして

いないので驚いていました。その経営者は、このやり方が常習で、何度も従業員に殴りかかられておりました。また、いい年をしてバイアグラの飲みすぎで、太って毎日ふらふらになっておりました。

ある有名な鍼灸師のところに務めた若い女性の話。月給日にいくらかと思うと7千円。

2か月目で8千円。鍼は1本も打たされず、1日中マッサージをさせられただけ。この女性は野口英雄の作文の様な話をしており、どんな病気でも治せる、医者より上だ、と宗教の様な話をしており、こんな人が多いのがこの世界です。化粧の上塗りなら拭けばとれますが、こんな免許は日本人で食べられるのは何人もいません。こういう女は手に職を付けたと言うが、単に手に糞を付けただけだ。400万円の不幸の塗り薬を塗り、次の塗り薬はFAXで何でも治せるという勉強会。これはやっている本人が食べられないから生徒を集め金儲けをしているだけです。やっている先生のところには患者はほとんど無く、勉強会の生徒の金で食べているだけだ。これは生活保護を受けるための勉強会だ。こうして手を変え、品を変え次々と騙され、不幸の塗り薬を塗りまくっているだけだ。最後に塗って塗って輪島塗りとなっていました。それでもまだ目が覚めないこの人達に、目覚めよという宗教がありますが、こっちこそ目覚めよと言ってやりたい。

70年間生きて、色々な人と巡り合い、色々な話をしたが、イカれた男の特徴は、どれも小学校時代クラスで1番勉強ができた、どこどこで何番とか、優等生だった。そして全く働かず、虚栄心が高く、成功した話しかしない。体はぶくぶくに太り、他人の成功を妬み、ありもしない事を言って、他人を引きずり降ろそうとする人でした。ある男ではないが、歯医者の子でいつも良い格好をしてうまいものを食べているので、しゃくに触るので高校時代、電車のホームで電車が閉まる前に思い切りその男をぶん殴って電車に入ってやったと手柄話をしておりましたが、この人は一生この性格が直らず、選挙の時、他人に撒くように握らされた金を、自分のポッポに入れその男から仕事をもらい、逆に仇を討たれ、4億円を騙し取られました。この人は虚栄心が強く、相場で1度も負けたことが無いと言っておりました。そんなはずはない。この人は全部失敗していたのです。そして全てを失い狂い死にました。本当の大金持ちは株などで儲けた話はしません。失敗した話しかしません。本物の知者は馬鹿ぶって笑わせる。能ある鷹は爪を隠す。これです。前記の狂い死にした男の友人が、占い師に、あの男はどうだ、と聞くと、占い師はその男を知っていたのか、あの男は他人の幸福を妬み、ジェラシーで炎の様になっている人で、他人に悪口ばかりを言っており、世界中に数多の神がいるが、その男を救う神は一人もいないと言うので、友人は死にかけた枕もとでその話を正直に言った。するとその男は、ベッドで泣き崩れ、俺はその通りだった、と懺悔し泣きまくりました。にも関わらず、涙も乾かないうちに他人の悪口を言っておりました。人間は遺伝子で動いており、死ぬまで誰も性格、人格は変わりません。1年同じ部屋で暮らした優等生の男がおりましたが、この男はすぐ刑務所だなどと思っておりました。あまりにやっている事がひどく、毎年10人位の女に子供をつくる男でした。2年くらいで刑務所に行きました。

もう1人、惨めな人の話。俺は学校時代クラスで1番勉強ができたという不動産屋がおりました。人生も惨めでした。色んな人に変な不動産を売りつけ、人生をめちゃめちゃにさせ、近所でわけの分からないことを言って数件のトラブルを抱え弁護士をつけていたが、そのうち弁護士も相手にしなくなり、遺産相続でも親族と揉め、いたるところでトラブルだらけ。これをトラブル発生機械とっておりました。死んでも誰も来る者はなく病院から火葬場に直送となり、鳥1羽鳴きませんでした。

皆死んでくれてありがとうと、悲しみの涙ではなく喜びの涙になったのです。

また、忘れもしない小学校1年の時、半沢和夫という男と鬼ごっこをすると、捕まっても捕まらないと言って逃げる男でした。この男は一生詐欺師で通りました。三つ子の魂百までもと言いますが人間一生変わりません。光と影、陰と陽、馬鹿と利口。40年間この工作中、色々な話を聞きましたが、その中にすごい経歴の人も数人おり、戦前陸大を出て中将となり、南方方面の特務機関長も務めた人でした。この人は小諸藩の筆頭家老の出で、じいちゃんは40年間村長をした人でした。秋になると200俵から年貢があがる地主でしたが、その時小作人は米を

リヤカーに積み、押してきた。倉に米を入れ、裏手から入ってもらい、酒を一杯飲ませる。本人は長野中学を2階級特進で進学した人でした。終戦で開放となり、全てを失いました。農協に務め、県議をしておりましたが共産党の妨害にあい、東京に出てきたが、数年の間にコンピューターを売り稼ぎまくって、元の地主と同じになりました。この人が言うに、小作人は頭が無いから何をやったって駄目だと。我々地主は頭があったので数年でまた同じになったと。この人は拳銃がうまくスパイ合戦の末、拳銃で31人撃ち殺した。やられる前にやる。1人目の銃殺は23歳の時でした。同僚で麻薬をやっている奴を追及したところ、日本刀で向かってきた。それを銃殺した。これを上司に報告すると、ご苦労、の一言。その死骸はリヤカーに乗せ、満州のコウリヤン畑に捨てに行っただけ。オオカミの餌だよ。1人目を殺したときは気持ちが悪かったが、しょっちゅう人を殺していると何も感じなくなると言っていた。この人の話は凄かった。満鉄を爆破して張作霖を暗殺したのも俺らだと言っていました。8か国語を操り世界中をまわっていたと言っていた。ある時、軍人で若い日本のエリートを野村さんが香港に集め、この人はアメリカの大使もしたことがある人でした。この人がこの戦争に日本は勝てるか、正直に言ってくれというので、経済力等から日本は必ず負ける、と答えた。日本に帰り上官にその話をする。「天皇本位で考えろ」と上官は激怒して、刀の柄で嫌というほど殴られた。しかし、同じ長野の人で同胞のよしみでこの話はバレなかった。あの戦争を負けると、ほとんどの知識人は知っていたのだ。1部軍人の傲り高ぶりのため、300万人殺し、馬鹿なことをしたものだ。この凄い人とは10数年付き合いましたが、呑み込みが良いだけでなく偉ぶらない良い人でした。この人はロシア人と一対一で付き合い合うと良い人が多かったが、対国となるとあの有様で一筋縄では行かない国なのです。

また、日銀の総裁を要請された人がおり、この人も10数年患者として来てくれて色んな話をしてくれた。日銀とは一口で何をするとどこか聞くと、世界中の要人と会って話をするのが毎日の仕事だと、料亭などは毎日何も旨くなくなり、自宅のお茶漬が一番うまかったと言っていた。7か国語は完全で、あらゆる話に合わせてくれる賢い人でした。日銀の北京支店にいた、30歳くらいの時でしたが、中国の鄧小平と同じ年で話が合い友人となり、2人で10回くらい飲みに行った。鄧小平は体が小さく酒が強く、漢方薬をくれたことがあった。1回話をして、この男はただのネズミではない、こんな頭の良い男を見たのは生れてはじめてでした。当時、鄧小平は市役所の係長だったのではとの話。この人の生涯の中で本当に頭が良いと思ったのは、この人と田中角栄だけだったそうです。大臣とか言っても、愚図で何も分からない奴だったと言っていた。この2人は小学校4年卒だった。東大に行っても頭のよくなる薬は売っていない。東大から刑務所へというコースも多い。戦後50年ぐらいたち経済使節団として中国に行った。使節団が一行になり鄧小平がその前を通りその時落合さんを見つけ何でも俺に言ってくれやっつけてあげるから、と言いました。

今一番刑務所に入っているのは弁護士と暴力団だそうで、日弁連の会長が嘆かわしい話だと談話を出した。元日弁連会長中坊浩平さんは産廃の手島の問題でヘマをやり、バッジを外しただけで罪を逃れた。

哀れな人の話

有名大学を出ているO先生の話

この人は鍼灸、柔整と2回当院から通学して免許を取ったが、仕事はできるけれども、やたら高給を要求し免許を取るとすぐ高給が取れる職場が有ると行って移ってしまいました。

2年ほどしてたまたま顔を出し2階の休憩室に他の従業員と居りましたが、新しく開業するというので事もあろうに従業員の引き抜きをしていたのです。1人連れて行きましたが、

自分はとんでもない高い時給を要求しておきながら、引き抜いていった従業員にはいくらか給料を払いませんでした。これが原因となり直ぐ辞めてしまいました。

自分だけが特別に優れた人間だと勘違いしていたのでしょうか。まさに恩をあたで返すとはこの事です。獣は獣道しか歩けません。そして人は人の道しか歩けない。これが人生です。良く親に悪いことをすると目が潰れると

言われましたが、この男は目より大切な男のタマが潰れてしまったようです。小作人の子孫は大体こんなものです。これを分かなければ人は使えません。

日銀総裁を要請された前記人を見ていて思い出すのは西郷隆盛のような雰囲気インチキは絶対に許さない人だった。俺は適当にやっていたら大蔵大臣くらいにやれただろう。トップが皆、優秀とは限らない。この人に総裁要請を断ったというので、何故ですか、と聞くと、副総裁の時やることを終え、総裁になる必要が無かったと言ったが、この人は名誉など全く要らない西郷どんの様な人でした。この人は天下り等で大金を得たが、その金のほとんどを東大の後輩で、金に困っている学生にくれてやり、自分はアパートに住んでいました。なぜ臼井などに来たのか聞いてみた所、よく印旛沼に釣りに来ており、釣りをする為に臼井に住んだそうです。この人は趣味は多彩で柔道やテニスで日本一になりました。

敗戦で日銀が中国から引き上げることになった時、中国の実業家はみな借りた金を耳をそろえて返しに来ました。事業をやる人は責任感の強い人で、みなそういう人だったのです。それに反し、日本の政治家は1人1人の名をあげ、あいつはああいうインチキをした、こういうインチキをしたと言い、1番なりたくない職業は政治家だと言った。鄧小平は世界一の頭脳だけあって、13億が全員すぐ分かるように白い猫でも黄色い猫でも鼠とったやつが良いと、国民に号令を発した。これで資本主義へ舵を切った。リーダーの能力で国が大きく変わる時がある。鄧小平がある時、アフリカに行き、その国の大統領が共産主義を目指していると言うと、とんでもない、共産主義などやるものではないと窘めた。本当のことを言ってしまった。前に書いた中将などは、ある意味共産主義もいよな、と言っていた。それは独裁だから1人で決めて早く事が進むからだろう。

ある時、千葉県一の不動産やが来て、この人は固定資産税を月4000万円収めていると言っておりましたが、この人は大蔵省の金融課長の寺村は激しい土地バブルにも関わらず、水門を開けばなしにして土地バブルを放置し、終戦のどさくさでお金をゴミにしたあれと同じ状況をつくった。この人は天下りで金融の知識は全くない人で国民にこれほどの迷惑をかけておきながら栄転となった。週刊誌に書いてありました。役人というものは自分の失敗にひとかけらも責任を感じない。こんな仕事だから公務員人気が高いのだ。自分の人生に恥のひとかけらも無いのだ。このバブルの時に上記の不動産やは、小学4年しか出ていないがこんなバカな話はないとして手持ちの不動産をバブル崩壊前に全部売り払ったと言っていました。本当の経済は市井の者が肌で感じて知っているものだ。この人から学んだのは、俺は学歴が無いので問題が起こりそうな時はすぐ金がかかっても最高の弁護士や税理士を頼んだ。だから普通の不動産屋のように失敗は多くはなかった。なまじっか変な大学などを出て知ったかぶりをしてやるのが火傷の元。人は自分のやることが少し見えるだけだ。専門家の知恵を借りることを忘れてはならない。このことを教えられた。頭の悪い証明とは俺は大した者だと思っていることが頭の悪い証明だ。1人の知恵では限られている。専門家の知恵を借りることが知恵だ。お金を借りれば利子をつけて返さなければならぬが、知恵を借りても返さなくてよい。むしろ相手から喜ばれる。

国鉄の3本の指に入る人も良く来てくれた。少し話をすると並の人ではないと分かった。

この人の話では労組の人でも、共産党でも色々話せば同じで、俺のところに遊びに来たりするんだよと言っていた。労組の先頭に立っている三塚等が国鉄を駄目にしてしまったと話していた。この人に地位などを聞いた事は無かったが、他の患者で国鉄にいた人が居り、Mさんはどんな人か聞いた。やっぱりな、と思った。ある程度の歳になれば話し方や顔に人生全てが出ているような気がする。労組がインチキをやりさぼりの巢にしてしまった。その後中曽根康弘が国鉄民営化を進め正常に戻ったと言っていた。

百姓でもすごい記憶力の人に来ており、この人は人間もしっかりしており株に明るく大金持ちだった。

やはりその近親者に市長を4期やった有名な人や、子孫で東大の理工に行った者もいる。

遺伝そのものだと思う。人の遺伝子は2万あり7代残っている。

親族の識別は今の科学では7代前まで分かると言うが、自分の遺伝子を考える時、私の7代前の先祖は井口長吉

と言う越中藩の藩士で、脱藩し江戸に出ました。丁度その時、江戸では宝暦の大火が有り、復興景気が起こったのでしょう。大金を得て、俵に穴あき銭数俵を詰め、越中の肘崎村に持ち帰りました。そこから300年、子孫は色々な事業

を起こした人や、有名大学の教授が多かった。私も6度、色々な商売に手を出し、上手く行ったのは半分でした。これもこの人の遺伝子かも知れません。

Mさんの話

この人は北海道で育ち当時両親は子連れ同士で再婚の小作人でした。親父に何か文句を言うとぶん殴られ3メートル位吹っ飛んだっけな。これでは反抗期など有る訳が無かった。大正末の農民の状況は北海道でもほとんどが小作人で、上の畑の百姓はイモやかぼちゃばかり、下の水田の百姓はくず米ばかり食べており、水田の友達のところ遊びに行き、くず米のご飯を食べると喉が歌った。くず米や、イモやかボチャばかり食べていた子供は病気などかかった事が無かったが、白米ばかり食べ贅沢をしていた地主の子供は結核でバタバタ倒れた。

トルストイの小説を読んでも当時の北海道の状況と同じだった。そんな中、義理の親父は俺が勉強すると小作人の倅が学者にでもなる気かと言って怒る人でした。

ある時学校の宿題が出たので、やっに行かないと先生に怒られるので馬小屋の2階の藁の上で隠れて宿題をしていると見つかって叩き落されたっけな。

中学に行ったが学費が払えず金払える時たまたま学校に行っただけだ。その内親父が百姓が儲からないので炭鉱で働く事に成り今度は白米が食べられたっけな。と言っていました。

この人は私の人生で人間がしっかりしており教養のある数人に入る思い出に残る人でした。

本居宣長が不易流行と言っていたが、まさに化学や医学は日進月歩発達するがその他は何も変わっていない。昭和22年頃のマッカーサー指令による農地解放までは特に関東はほとんど小作人。隣の印旛村や市川の行徳は700ヘクタールを持つ地主、その他自小作が少々。今考えれば小作人は全員会社員に変わっただけだ。何も世の中変わっていない。開業当時、歳寄りは名前に小作人のだれだれと言っておりました。田舎の土地などいくら持っても何の値打ちも無い。開放になり700ヘクタールを取り上げられた行徳のNさんはその金全部銀座で土地を買った。すると開放で取り上げられた土地よりも値打ちが出た。頭は使いようだ。会社員は日本に1人もいない。小作人と呼ぶべきだ。それに反し、整骨鍼灸院は地主だ。人を使っているやつは、10人使っている奴は10石持ちだ。世の中は基本的に何も変わってはいない。人事管理だって、管理しやすく係長部長課長、いや自衛隊や警察などでも分隊長小隊長中隊長という管理しやすい方法を考え、管理しやすくしている。このやり方は、秦の始皇帝で軍団のある軍人が考えたそうで、アメリカの軍隊も同じだ。これ以上良い方法が見つからないのだ。自由主義社会も共産党の社会もあまり変わらない。ただ、自由主義の方が肅清も無く言論の自由、報道の自由、出版の自由が大きく、息苦しくないくらいだ。ある時、司法修習に行っている頭のいい男が来ており、色々話をした。その時その男は中国人の友達もおり、ツイッターでやり取りしており、中国という国は3世紀ごろ日本と国交を持ったが、中国の皇帝に日本の王からの贈り物として差し出したところ、中国の王は、日本に王など居ない。そこは中国の領だと怒りだした。南シナ海も3千年前の話を持ち出し、全て中国領だと思っている。この国は、俺の物は俺の物、お前の物は俺の物という考えだ。共産党とは権力を握った者は1人で全ての権力を握り、個人の人権は何もない。中国共産党は子供の数まで国が決める。これでは国民は家畜と同じだ。これに国民は目覚めていないのだ。皇帝制社会と全く同じだと、が日清戦争では眠れる獅子と言われていた中国がゴミくずほどの小さな国、日本に負け。ガウンをはがすと、ただの豚とばれてしまった。日本は中国に赤恥をかかせた。愛国心の調査を各国で行ったところ、日本が世界で1番愛国心が低かったというが、尖閣の問題が起き、海上保安官を募集したところ、日本人は応募者が殺到。それに反し中国は危険なので応募者が全くなかったという記事があったが、日清戦争の時を見ても、中国人は国に忠誠を誓うものはいない。国民は国のやることを全く信用してい

ない国なのだ。それより各家庭の子供の人数まで国が決める。これでは、中国国民は家畜と同じだ。家畜は何頭生ませるか人間様が決める。これが中国共産党の本質だ。それに反し、日本は国の一大事には命を捧げる人がまだ多い。日本人は民族に対して愛国心や誇りが無いというのが、3000万人足らずの人口で大国清国を破り、日露戦争では巨大な戦力を持つロシアを破った。そして第二次世界大戦にはいり、国土がすべて焼け野原となったにも関わらず、終戦わずか10年にして世界のトップに完全復興し世界のトップに躍り出た。敗戦国であったドイツと日本がまた世界のトップとなったのです。そして、ドイツはベルリンの壁を破り東西を統一した。流石一級民族だ。

それに反し朝鮮民族は南北が分断したままだ。あの全くまとまらない人種では統一は厳しいのではないか。これほど国民1人1人が自由にものを言え、食べたいものを食べ、静かに暮らしている国があるだろうか。これを我々は忘れていないのではないか。アメリカの成人式では国家の有事に際し国家に命を捧げますという宣誓をしなければ成人式は成立しないそうです。中国はあの人権状況で、国民の4割は一文字も書けない。一般の生活状況を見ると、内心は国のため命を捧げる人はいないはずです。いまだ9億人の農民が原始時代と言われています。犯罪で捕まっても運が悪かったね、と思っているそうです。鄧小平ではないが、国が大きいので簡単にはいかない。豊かになれる者からなっていこうと言うが、豊かになれたのはほんの一握り。日本の戦前位の生活ではないか。だって数年前までODAを通し日本から援助を貰っていた後進国だ。

中国と韓国はこれでもかと言わんばかりに戦前の南京大虐殺や従軍慰安婦の問題を持ち出すが、その頃中国にはイギリス、フランスも疎開地を持っており、なぜ日本だけが目の敵にされるのか不思議だ。南京の人口からいっても、そんなに殺しているはずがない。白髪三千丈の話と同じだ。こういう教育をして無知な国民は本気に思っている。これがブーメランのように自国に返ってきて国の恥をさらしている。中国にだって日本は悪いこともしたが良い事も沢山している。例えば満鉄の建設。開拓団がアメリカのような農業を展開した。毛沢東時代と比べると、戦前の方が夢のような生活だっただろう。山崎豊子の大地の子は山崎が何十回と中国に出向きその時の中国人に聞いて作った映画だ。当時の中国人はほとんど文盲でなんの教養も無いので引揚者や逃避行する日本人を襲撃するため親子が離れ離れになった人も多かった。以前勤めていた病院の院長の母親の話。満州からの引き上げ時、ハルピン駅で貨車に三か月も閉じこまれて多くの日本人が死んだ。その際に中国の役人は貨車を出してほしければ若い女性は皆出してくれと言われたが、嫁入り前の娘をそんなところに出せる訳がなかった。

すると丁度そこに水商売の女がおりそんな女がみんな出てくれたものだが光と影その子供を育ててくれた中国人もいた。この映画を中国政府は中国人は襲っていないとクレームをつけた。国内だけでなく国外にも報道の自由を奪っているのです。アメリカが日本軍を追い出したにも関わらず、毛沢東が追い出したと言うデタラメな教育を一般人は本気で信じている。3千万人処刑した文化大革命で人数は分からないが数千から一万人単位の死者が出た天安門事件。こんな大事な情報をマスコミの報道も無く国民に何も知らされてないのだ。そして国民は嘘で固められた教育を受けて、誤った考えから日本の商店を襲撃した。丁度これはブーメラン現象だ。ケント・ギルバートではないが、自国民を3千万人も殺した毛沢東がなぜ赤の広場に飾られているのか、韓国や中国こそ歴史認識を正しく認識するべきだ。所詮この人は革命家であり、全く経済や政治も何も知らない素人でこんな人が治めたのだからこんな事に成るのは当たり前。内情は今の北朝鮮と同じだったのではないか、それを鄧小平が白い猫でも黄色い猫でも鼠捕った奴が良いこの一言で中国は主本主義に大きく舵を切った。後世の中国は必ず目が覚めるだろう従軍慰安婦の問題も真実は日韓国交正常化の際、大平さんはこうゆう問題も全て一括して解決した。そして今後一切の意義を申し立てないという解決をした。その際解決金として日本人全員が1年働いた位の大金を韓国に支払った。その金で韓国は経済発展の軌道に乗りました。それにも関わらずまたしても従軍慰安婦の問題を蒸し返し安倍内閣で10億円の基金を作りましたがまたしても学生運動上がりの大統領がこれを反古にしようとした。こうゆう条約や約束を守らないというのは朝鮮民族の国民性です。世界に恥をかいているのは韓国で

す。慰安婦の銅像を建てれば建てるほど自分で約束を守らない国だと宣伝しているようなものです。このようなことを外国で繰り返すので鼻つまみに者になっているのが現実です。約束を守らないのは民意が優先するとゆうことだがそれなら国会も法律もいらない。民意局を作ってやればいい。こんなことで世界に通用するわけではない。

そもそも、日本は国策でやっておらず、単なる売春婦だ。それも大金を取っておきながら70年も経ち大恥の顔を曝け出して金を日本から脅し、ゆすり取ろうとする。

どういう拝金主義の国民なのか。

大恥で思い出すのは前の韓国オリンピックでボクシングの試合中審判のジャッジに不満を持った韓国のコーチが審判に殴り掛かり大乱闘となった。これを見ていた韓国大統領は金メダル10個失った位の損失だと言ったが、この民族はニンニク、トウガラシの食い過ぎで気が荒く町中至る所で、ショッチュウ喧嘩しているのだ。そのうち今日本に来て春を売っている5万人も言い掛かりを付け、日本に一人当たり1千万円を要求するのではないか。こゆう間違った国民に対して正しいことを分からせ苦い薬を飲ませるのが本当の大統領・指導者であるにもかかわらず現実には選挙のことばかり考え、ポピリズムに走り国民を不幸のふちに引きずり込んでいるのだ。日本人で兵隊に行き、それを見ていた生き証人がいました。そのOさんの話は生々しいものでした。その時兵隊は金をとられていました。その金額は当時の会社の重役くらいの月収があったそうですが日本が戦争で負けたらお金は紙切れタダでそんなことをさせられた人だった。それは韓国の女性だけでなく日本人も多くいたそうです。日本が国策で行っていることが問題となっているが朝日新聞の吉田記者が裏もとらず想像で書いたイカサマ記事です。国は絶対関与していません。この件では、当時の外国軍も似たり寄ったりで日本は一般人女性を襲う事は無かったが、一番ひどかったのは日本の敗戦で不可侵条約を破り満州に進行したロシア兵。日本女性がどれほど酷い目にあったか。しかしロシア兵全員がそうゆうことをしていた訳ではなかった。

当時、中国のハルピンで看護師をしていた女性の話。ロスケが入ってくるというので皆女性は頭を坊主にし、顔に墨を塗っていた。すると入ってきた兵士は笑ってゼスチャーで胸を指して女性であるのが胸で分かると言っており何もされなかったと言っておりました。これはロシアが日ソ不可侵条約を破り、満州に進行して60万人の日本軍をシベリアに連行させ、シベリア鉄道を建設させたのです。酷寒の中、飢えと寒さで10万人くらいが命を落としました。今でもシベリアの凍土の中に眠っています。これはロシアと瀬島龍三の密約があったという話もありますが、定かではありません。この件については、後ほど共産党大会で赤の広場で、あの条約は日本をペテンにかける道具だったとスターリンは言っています。これがロシアの指導者の現実だ。

そこでシベリア抑留を経験した人の話

大家の豊田清さんの話

冬の寒さは半端ではなく、食事は小さなマッチ箱位の黒パン1個で、腹が減って堪らないので春に成ると飯ごうでヨモギを煮て食べる。うんこは皆真っ青だった。仕事に出かける時1列で行進して行くのですが、皆栄養失調でフラフラ、幽霊の様であった。

朝になると同僚がコロッと死んでいて、硬い凍土を掘って埋めたっけな。

中隊36名の中で生きて日本に帰れたのは俺一人だった。この人はシベリアで額あたりをヘルペスになり、一生治らなかつたが私の電気鍼が効くと良く来ていました。

高校時代の鳥本先生の話

俺はシベリア送りとなり炭鉱に行ったが寒いときは-50度位になり、そうすると寝ていられず皆起きてきて火を焚き囲む。炭鉱の中ではバリバリと音を立て地割れがした。そんな中でもロシア人の政治犯で流されてきた男が居り、皆、シルバーと言って、羊の皮を裏返して着ており、政治犯の男はそれを着て炭鉱の中でも寝てたっけな。兵隊はコッペパン1個で食べ物に飢えており、何か拾おうとしてバンドに缶詰の缶を縛り歩いていた。すると、

黒パンの欠片が落ちており、拾い缶に入れておいた。

帰ってストーブに当たっていると変な臭いがするので見るとウンコだった。

ある時、兵舎にでっかい犬が来たのでそれを殺して肉を取ったところ一斗缶一杯くらいの肉が有った。

寒さでおびたらしい人がバタバタと死んだっけな。

中にはチンピラ相撲取りが居て、あまりに痩せて皮を引っ張ると、テントを引っ張った様になった。当時のロシア人の医者健康診断に来て日本の兵隊の皮を引っ張るだけだった。

時にはロシア人の家庭に行き、その子供からロシア語を習い算数を教えてあげた。当時のロシアは貧しく、左官の技術を持つ人がロシア人のところに行くと、皆共稼ぎで親は居らず、子供は芋を1個食べて寝るのでした。

警察学校で交通を教えていた高橋先生の話

シベリアで木の伐採をしている時、切る木をロシア人が印を付ける。その時大きな松の木で実が生っているのが有り、そういうのを倒させ松の実を食べると世の中でこんなに美味しい物が有るのかと思った。

日本に返り松の実が売られていたので食べてみたが、あまり美味くなかった。またある時はシベリアの大雪原で材木伐採で山に行くとき5~6頭の熊の群れと遭遇し1~2頭は逃げられたが、斧と鉋で10名ぐらいで襲い掛かり、殺したその時1名手を負傷したが、肉を持ち帰りたらふく食ったっけな。凄まじい寒さで同僚がバタバタと死んで行った。生き残った者は栄養状態が良かった者であった。

住んでるゲルでは、ロスケは日本を共産主義の国にしようとして、共産主義の洗脳教育をし、洗脳されたものから早く日本に返したが頭のいい兵隊はそんなイカサマに引かからず早く帰りたいので洗脳されたふりをして早く帰ってきた。帰って共産主義を広めるどころか共産主義の粛清や人権弾圧の事実を伝えた。共産主義とゆうものを見ると鈍間だとか、個人の所有物が認められずそうすると、全く労働意欲がなくなり怠け者の巣となり国力の衰えは激しかった。馬鹿な奴は本当に洗脳されて、日本に帰っておかしなことを言って笑われただけでした。日本人の多くは文盲が居らずおかしなものには引かからなかったのです。当時、収容所内で日本人は全員が新聞が有ると読めるので、ロスケは驚いていました。また、人員の点呼や材木の計算をするとき日本人は掛け算ですぐ計算する。するとロシア人は掛け算が分からないので日本人がインチキをしていると騒ぎだす。

ロシアと言う国は、ナポレオンの進行やヨーロッパからの侵入により多くの死者が出た。そこで軍事力の強化国防を痛感していた。しかしロシアは松岡洋右外相が結んだ不可侵条約を破棄し日本に対し前記のような蛮行を繰り返り広げ戦後北方領土占領し、この事実を全く認めずいまだ謝罪一つも無いのです。僅かにコルバチョフが遺骨の収集と墓参を認めただけです。この大罪は従軍慰安婦問題どころではない。ロシアが日本に国土の半分を渡し謝罪すべきです。あの抑留された60万人の日本青年のことを忘れてはなりません。

ノーベル平和賞はいい加減なのが多いが、ゴルバチョフの東西冷戦の終結と国内の秘密主義をやめさせたことは最高のノーベル賞だったと思います。

最も酷い事をしたのは、ベトナム戦争で民間人に集団レイプ事件を起こした韓国軍です。週刊誌に大きく出ておりました。歴史認識というならこの事をベトナム人に韓国人は謝罪すべきだ。ケント・ギルバートと書いています。日本女性も敗戦で佐世保に引き上げた時、おびたらしい女性が妊娠しており病院で中絶した中には親子で中絶した者もいたと書かれている。

真の被害者は日本の女性だったのではないかと、朝鮮人は世界で一番性犯罪が多いと言われ国内で売春を禁止したところ、日本で5万人、アメリカで9万人、春をひさいでいるといわれ週刊誌には股間経済の島と書かれている。友人の大井さんの話、知人がデパート関係の仕事で韓国に行きその責任者が店員の一番好みの女性を指名しろと言われて、夜ホテルに行くからとゆうのでまさかと思ったが本当に夜ホテルに来た。40年ぐらい前、航空会社に勤めている男性が数年単身赴任となりその人は韓国語も話せたので会社の一般女性に夜ホテルに来ないかと声を掛けると来なかった女性はいなかったそうです。そしてその女性たちは貰った金で何々買えると大喜

びしていました。百田尚樹の書で朝鮮人はこのように売春の文化があったと書かれていた。前記のこの人は、単身赴任でも性活には何ら不自由しなかったそうです。

その女性たちは金を出しても買いたい素晴らしい女性なのだと saying いた。

この国は貧富の差が激しすぎ、下の階層は容易に浮き上がれない国と言われています。日本でも進駐軍が来て、そちらの女性が金になるとして基地に多数駆け付けた。その中には紅をつけた 80 くらいのババアもいたと学校の校長が笑っていた。我々は決して韓国人を馬鹿にするつもりは毛頭ない。今は世界中の人種が日本に来ている差別などを考える人はいないのではないかと我々の鍼灸の同級生にも韓国人が4人いたが皆人柄のよい品のある人でしたが一度国と国になるとこの通りだ。日本と韓国との歴史的関係は、隣国でも在り丁度隣の人と同じ。例えば馬が逃げ、隣の畑を荒らしたり、山羊が逃げ、野菜を食べてしまったり、子供同士が喧嘩したりと同じで、古くは6世紀の白村江の戦いで、高句麗国から援軍を要請され出兵、全滅した。

文永・弘安の役で蒙古が襲来した時、その人達は蒙古人と韓国人が半々でした。

壱岐対馬に上陸した兵は、日本人を4万人殺し、女は手に穴を開けられ、芋蔓式に連行されました。そこで今もこれを忘れない為、今でも壱岐対馬では、連行する姿の人形が売られております。それに反し400年前、豊臣秀吉が朝鮮出兵を仕出かし、朝鮮人に大変な迷惑をかけた。その帰りに朝鮮人の耳を持ち帰った。東京には耳塚として残っている。

とくにアイヌの人は気持ちが良い人が多い日韓の併合だって日本がしたものではなく、韓国人は血の気が多く国内をまとめ切れず韓国の二条党が日本政府にお願いするのでやむを得ず伊藤博文がこれを受けたがその時、伊藤は内心合併を嫌がっていた。その理由は豊臣秀吉の朝鮮出兵という苦い思い出が頭にあったからと言われている。その結果、1945年まで37年間統治したが、当時の朝鮮はなんの発展もない未開地でしたが、日本は本国と分け隔てなく教育と鉄道等のインフラの整備、発展させた。日韓国交正常化で戦前の日本人の財産のすべてを放棄させ、植民地時代日本は悪い事しかしていないと言っていますが、インフラの整備、教育改革、農業の改革と数え切れません。その恩を仇で返す行為です。にも関わらず、戦後李承晩は勝手に海に李承晩ラインを設け、竹島を占拠。この島は、明治の初め日本人がアシカ猟をして、島根県に税金を払ったという記録があります。日本固有の領土であることは明白です。日本の防衛の弱体化につけこんだ悪質な犯罪です。まさに恩を仇で返す行為です。それに反し台湾は、明治27年日清戦争の戦利品として取ったその台湾を日本と差別なくインフラの整備をし、70年統治した。すると中国本土と比べものにならない発展を遂げ豊かな生活を保障した。そのため台湾人は日本の恩を忘れず大変な親日なのです。その差は韓国と大きい韓国人は日本に水虫の足など向けて寝ると切断だ。これが真実だ。又、台湾の蒋介石には返し切れない大恩を受けた。それとゆうのは戦後の混乱の中日本人の引き上げが難航その時、蒋介石が引き上げに尽力し多くの日本人の命を救いました。

ある時福田赳夫と韓国の朴正熙大統領が酒席を持った。朴大統領は、韓国の貧乏な小作人の家に生まれ、教育すら受けられず、日本は韓国人で頭の良い、そういう子供を日本に連れて来て教育をした。朴大統領もその一人でした。教育を受けた所は私が住んで居るすぐ側で、佐倉の臼井台にある明倫寺と言う寺でした。酒席で朴大統領はその事に触れ、また鉄道やインフラの整備をして頂き大変感謝していると言ったが、これが本音ではないか。

西岡力の本に韓国朝鮮はユスリとタカリの専門の国だ。日本人は公德心が強く必ず約束を守るそのため外国からの信頼は絶大だと言われている。

人生、穴場と墓場と言うが、以前、柔整は医者と間違はれて、医者と変わらない高給をとり美味しい思いをしておりました。これは職業の穴場キチガイ以外ベンツに乗り遊びまくりました。穴場と墓場を間違っていたのは戦後、北朝鮮が世界で一番発展した国だとゆういい加減な情報で万景峰号に乗り北朝鮮に帰った朝鮮人だ。ついて目的地に向かうと見る風景は堀立小屋のようなものが立っているだけ、そこでしまった騙された気づいたが後の祭り。これが穴場と墓場の間違い人生情報八分と言うがITほど大事なものは無い。織田信長だって桶狭間の合

戦で今川の首を取った時、今川の居場所を教えた奴が一番の手柄を得た。私も交通取り締まり中、隣にいた中山さんに柔整の情報を聞いてイノシシの様に一直線に突っ走りました。大正解でした。良い情報は一生に何回かはあるものだ。

普通の人とはどんな情報にも耳を貸さず電波をシャットアウトし何もアクションを起こさない物だ。これを脳眠と脳民と言う。何もせず他人の成功を妬む、これが一般の人だ。

世に赤っ恥と言うが、あの社会党の土井たか子が拉致の時、金正日が拉致など絶対しないと断っており、拉致が発覚した時の顔だ。また浅沼稻次郎は中国に行き毛沢東と米帝国主義は日中共同の敵だと共同声明を出した。今、この2人が生きておりあのフィルムを見せるとリンゴやトマトの様に顔が真っ赤になっただろう。その後社会党の村山富市に自民党が故意に政権を渡した。すると、今まで言っていた安保も自衛隊も要らないと言う話がころんと変わりこれを認めた。そこで社会党は言っていることとやっていることは全く反対で出鱈目がバレ社会党は選挙で散々な目に遭い解党の憂き目を見た。これは自民党の策。相当の知恵者が居り読み通りだった。

これは先日死んだ野中広務あたりが考えたのではないか。こんな奴が野党では日本にはアメリカの様に2大政党時代が来る訳がない。自民党もおかしな事がしょっちゅう起こるが野党も野党だ。だが日本人は戦前、世界で一番文盲率が低かった。だから正しい判断をして色々な製品を作り、あつとゆう間に世界トップの豊かな国となった。全体としては、変なことに引っかからなかった事です。マルクス・レーニンが政権を取った時のロシアや中国も国民がほとんど分盲だった。国民が字の読める国では共産党になった国は一つもなく、また発展した国も無かったと言われている。シベリアや抑留記では、ロシアの兵隊は十まで数を数えれば将校だ。掛け算なんてできる奴なんて1人もいなかった。アメリカの進駐軍も同じだ。アメリカもいろんなところで人を殺しまくったが世界の宗教と共産党の粛清は1億ずつくらい殺したのではないか、宗教は今の中東やイスラエルのあの話を見れば分かるはずだ。清教徒革命でイギリスから渡った人たちが国連憲章の大量破壊兵器禁止令に違反し、広島・長崎に原爆を落とし、あちこちで戦争をして人を殺しまくっているのがアメリカの現状だ。フランス革命だと言っているかにも世直しができ民主的な国家ができたという学校の教科書は真っ赤なウソ。革命などで世の中バラ色になったためしはない。フランスは多くの人が死傷し多くの建築物が破壊され復興に100年かかったという。ロシア革命だって同じだ。革命の原因は王様が浪費して経済が悪くなり疲弊したとゆうが、これは一部の偏った考えを持つ人たちが誤った情報を流し、一般民衆は文盲でありそれにあおられて起きたロシア革命では5000万人が処刑されたと言われている。この経済疲弊の原因は王様が浪費したわけではなく、いずれも地球上の火山が爆発で煙が太陽を遮り穀物が取れなかったこれが真の原因。丁度日本でも幕末の天明の飢饉があった年です。真実はよく調べないとよくわからないものだ。過激なことをして世の中が良くなったためしがないこれが真実だ。政治家やリーダーの決断は100年200年後の人が見ても正しいと思われなければならない。後世の歴史の検証に耐えうるものでなければならない。馬鹿な政治家や学生運動のリーダーなどは後世馬鹿の見本になった例しかない。

いい例をいくつか書いておく。賢い例はアヘン戦争でイギリスに香港を取られたとき中国のリーダーが100年後に中国に返すという契約を飲ませた北方領土も、日本にとおくを見られるリーダーが居たら変わっていたのかもしれない。明治維新に、伊藤博文内閣の北海道開発長官で入閣していた黒田清隆は27歳であったがアメリカに留学した経験があり、アメリカの車社会を見て日本も遅かれ早かれこうなると考えており、何十メートルと広い道路を計画した。これを見た道庁の職員は黒田をキチガイ長官と笑った。当時の日本では本州の道路は牛馬が通る道しか許可にならなかった。黒田がいなかったら、北海道の道路が今の様に直線で広くはなくのちになってどれ程用地買収に苦労したとか、民衆の声とゆうが時には危ういものだ。何も分からない民衆でもみな口はある。私は日本で最も優れたリーダー・総理大臣は誰かと聞かれると即座に岸信介と答える。だってあの時激しいデモのなか自分の信念で日米安保条約を結んだ。その後の日本を見よ。あれが無ければその後日本は混乱し、今の日本は中国領や北朝鮮領になりアイヌの様にほとんど殺されただろう。江戸時代本州の和人とアイヌの間で数回戦

争が起こった。だがアイヌは矢じりしか武器を持っておらず、和人は鉄砲を持っていた。丁度今の原爆を持っている国と持っていない国との戦争の様なものだ。いかに相応の武器を持たなければ国民を守れないか一目瞭然だ。50年前、アメリカと安保条約を結ばなければ、とんでもない混乱を生じただろう。日本はしょせんアメリカの核の傘に入っていないと生存できない。そしてアメリカの肩に星が一つついているのが現状。今、これを正しく理解し岸信介を評価する人は1人もいない。あの時反対デモに参加した人たちはどの程度の考えを持っていたのだろうか。深い考えもなく参加した人達が多かったのではないかその人たちは、今を見れば余りの恥ずかしさで、リンゴやトマトみたいに顔が真っ赤になるのだろう。今の国際情勢を見ればわかる。ある党は自衛隊も安保も要らない。いざとゆうときは、国連に頼めば事足りるといっておりましたが、元原田厚生大臣のゆう様に国連は田舎の信用金庫と同じです。浅沼稲次郎は中国に行き毛沢東と米帝国主義は日中共同の敵だという共同宣言を出し日本に返ってきたときには、毛沢東からもらったへんてこな帽子を被って帰ってきた。そして街頭演説中に日本愛国党の山口オトヤという青年に刺殺された。田舎でも大正時代、原始人と原子人がいたものだ。それとゆうのは我孫子から成田まで鉄道を引くとゆう事に成り印西の小林とゆう所に駅ができることになり近くの住民は畑に鉄道が通れば危ないとして反対した。ところが、Mという男がこれからは鉄道の時代だ、鉄道で東京まで農産物を運ぶ時代が来ている。そして村民は現金収入を得て豊かなになる時代だ。と、村人を説得し自分の土地を提供した。目くら千人目開き1人、時としては、多数決など不幸を招く知恵のあるリーダーは正しい事を分からせる能力が必要だ。何を言ってもわからない脳眠がほとんどだ。これが貧乏の始まりだ。私は役所をやめこの業界に移った時も夜学に行っていると親族や仕事仲間は何も知らずに調べもせずそんなものと笑っていたが、会計の婆さんが一人、私に話を聞き、息子を鍼灸柔整師にしており、息子は直ぐにベントに乗っていた。その婆さん曰く、松原さんはこんな所にいる人じゃない、世に出て成功する人だと煽てられたが、目が見えたのはこの婆さん一人でした。

私は警察を辞めて1年半経った頃には、毎日警察官の給料が頂けました。あの婆さんは警察署の中で唯一人、社会の目が見えていたのだ。

これが一般民衆の姿これを脳眠と言う。いつの時代も同じほとんどが小作人で小作人は地主のゆうことだけきいて自分の頭で何も考えることができなくなっており、柵の中に入れられ餌をもらうだけ、そのうち脳が退化したのかタダの脳眠社畜と化している。何か自分で事業を起こすものはこれでは成功するわけがない。起業する人は脳を使わなければ絶対に勝ち組にはなれません。脳を使い正しい情報を収集し先を読み行動をした者が勝ち組になるのです。私事ですが先を読む先見の明とゆうが私の先祖は地方の豪族でしたが富山市水橋とゆう所で千年続いた地方の豪族が今から400年前の江戸の初め、立山連峰から日本海側に向かい30キロで富山湾に注ぐこの常願寺川100メートルで1メートル下がる急流。日本海の雨雲が立山にあたり

大洪水を起こす日本で一番の洪水が起こる日本一の暴れ川、これが常願寺川です。その川に沢山の枝の様な川となって分かれ、本流の川から湾に注ぐ。3キロの地点に白岩川という川が有る。そのV字のデルタ地帯、丁度エジプトのナイル川流域と同じでナイル川のミニ版でした。

一面葦の原、ここに米を作ろうとして初めて鋤を入れたのが私の先祖、山岡七郎兵衛です。

そこは西光寺村という村になりました。高80石になり、西光寺の山岡か山岡の西光寺かとまで言われていました。

当初は毎年洪水が来るこんな場所で米がとれる訳がないと通りがかった人は笑った事でしょうが、粘り強く築堤工事をしたりして明暦2年には百余国を免ずるといふ古文書も残っています。この地は洪水で3年か5年に一度しか米が採れなかった様ですが、粘り強く住み着き江戸の中頃には寺子屋を作り土地の人に教育をしておりました。近隣の十か村をまとめ、水橋史志に四十五石、山岡先生という記事も残っています。

このご先祖さんの先見の明により子孫は400年に渡り豊かな生活と教育を受けることが出来ました。今も富山市

の教育関係の要職や市のリーダーとして活躍しています。

そこで 20 年程前先祖の 300 年祭を執り行いました。人間棺桶の蓋が閉じるまで脳を使えば面白いチャンスがある。そして年を取ると言うことは、すき焼きをした後の汁の様にエキスが美味しいものだ。普通の人はこれを捨てるが、脳民はこれに飯を入れ味を堪能する。

我々年寄りの知恵を馬鹿にしてはならない。すき焼きの最後の汁の様なものだ。生きていたう事は（娑婆は面白く素晴らしい）皆さん人生百年時代 8,90 まで鍼灸を生業として原 志免太郎先生のように自分の体にお灸をし、百まで生きてこそ一流の鍼灸師だ。これを証明して死んで下さい。

同級生の松本さんの話。この人は理研ビタミンの部長だった人で、ビタミンで日本の権威だった人です。この人曰はく、兄は兵隊の時に部隊で唯一人生残り残った。その理由は、上官に気に入らぬことがあり、その上官を殴り倉倉に入れられた。その間に部隊は南方に行き、全滅した。何が良いか分からないよ、と言っていた。その松本さんの特攻隊時代の同僚で、佐倉十万石の筆頭家老の子孫で、料亭を経営する T さんを紹介された。その T さん曰はく、息子は東海大の柔道部で山下の同級生だった。警察が柔道の県大会の選手要員として来てくれ来てくれと言っているので行っているが、男は 30 くらいまで一生の仕事を決めず、色々社会勉強をした方が良いと言っていたが、人は生れて数日で目が見えませんが社会の目が見えるようになるには 30 年ぐらいかかるだが一生社会の目が見えない人がほとんどだ。息子は体がでかいので給料だけでは食事代にもならず、家に金をとりに来る有様。うなぎ屋をやれば半日か 1 日で 1 か月分の給料が稼げる、そんな事をしていつまでも遊ばせてはおけないと言った。治安も大事だが、自分の人生の方がもっと大事だ。私もその仕事をやめて 1 年もせず毎日給料日になった。人間毎日給料日の人、毎日ボーナスの人、毎日退職金の人がいるものだ。これを無札官、軽札官、重札官という組織の中では共産党の国と全く同じ。嫌なことが多かった。中の人間は不満たらたらで、イジメが多く空気が悪かった。パンツの裏まで見られ、全くプライバシーも無く自分の意志とは全く関係なく荷札の付いた荷物の様に転勤させられ月給は接骨院の 1 日分だこれじゃ軽札官と言われてもしょうがない。仕事を見ても余りにも無意味なことが多かった。一番嫌なのは他人に自分の仕事を評価され給料を決められる事だ。

十万石の子孫がゆうとおりでだっと思ひます。自衛隊、消防、警察のような社会は特にノイローゼや自殺者が多かった。みんな早死にした人が多かった。まさに社畜。柵の中に入れられた羊も同じ。同僚は柵の中しか見えなかったが、私はいつも柵の向こうの青々と茂る草を見ていました。そしてある日私は柵を破りました。私は最も大事なものは、1 度しかない人生を悔いなく生きてやろうと思っていました。何も考えないでいる人と、考えている人の差が生じたのです。私は若いころ松原シズムの教祖と呼ばれていましたが、人生の設計図と青写真をつくっていたのです。そもそも自営業とは何かを知らなければ、必ず失敗します。人生は孫子兵法そのものです。漁民は良い漁場を探し、農民は肥えた土地と日当たりのよい畑を探す。我々は、星の数ほどある職業の中から自分の能力で出来るおいしい職業を真剣に探すことだ。我々自営業は一口で言えばスポーツ選手や芸能人と同じです。稼げる者はいくらでも稼げる。ほとんどが稼げないが、その中で柔整師だけが医者と間違われ、ほとんどの人がいい生活が出来たのです。ところがここに来て、柔整の学校が規制緩和になり、いっぺんに 10 倍に増えました。そこでこの例外が崩れているのです。正常に成りつつあるという事でしょう。自営業には報告も連絡も無く、頭を押さえる者はいない。こんな面白い商売は無い。

が、サラリーマンの中くらいの働きをするには最低サラリーマンの 3 倍は働き、3 倍頭を使わなければ、自営業はもたない。それを誰かうまくやっている人のおいしいところだけを見て軽々しく始めると大変な事になる。組織の中では資本主義も社会主義も大した差は無いが、資本主義のほうがまだ言論弾圧や他人に監視されず、息苦しさが少ないだろう。12 年半役所にいたが、辞めてみて何か羽が生えたような気がした。そしてこれは脱北したと同じだと、ふと考える時がある。ああいう組織は馬鹿の収容所ではないか。特に今は規則、規則で、以前よりも酷いのではないか。学校の先生もひどく疲れている。首や背中がカチカチで、鍼やマッサージに来る先生が多

い。公務員が就職人気 No.1 というけど、私にしてみれば、こんな無責任でつまらない面白くない仕事はないと思う。お前に地球を全てやるから公務員や他人に使われる仕事をしてくれと言われても、絶対に断ります。それに反して今の柔整鍼灸は自分の人生を輝かせる事が出来る仕事です。